

令和9年度 関東甲信越建築士会ブロック会
青年建築士協議会 山梨大会

ロゴマーク デザイン募集!!

■ 大会テーマ

「頂」～つどい、つながり、未来を築く～



① 応募資格

建築士会会員／一般（学生含む）
※個人・グループ応募可

② 選考・賞品

最優秀作品：**大会公式ロゴ採用+「商品券5万円分」**
※結果は山梨県建築士会 HP にて発表します
※選考は山梨大会実行委員会で行います

③ 応募期間

【令和8年2月】～【令和8年4月30日】
※未発表かつ自作作品に限ります
※採用作品の著作権は主催者に帰属します

④ 応募方法

下記アドレスに次の内容のデータを添付して送付
1: ロゴデザイン（データ・手描きはスキャンにてデータ化）
2: コンセプト説明（200字以内）
3: 氏名（学生の場合は学校名も記載）・連絡先
4: メール件名に「関ブロ山梨大会ロゴマーク応募」と標記

⑤ お問い合わせ先

【山梨大会実行委員会：広報担当】
（鈴木）TEL: 090-4924-8615

mail: yamanashikankouhou@gmail.com

■大会趣旨

大会テーマ：「頂」～つどい、つながり、未来を築く～

「富士山」____その圧倒的な美しさは、人々の目を奪い、心を打ちます。古くから「霊峰」として崇められ、日本の信仰文化と深く結びついてきました。また、芸術や文化の中でも象徴的な存在として描かれ、2013年には「信仰の対象と芸術の源泉」として世界遺産に登録されています。富士山は、ただの自然の山ではありません。それは目標であり、精神的な支えであり、祈りの対象でもあり続けてきました。

建築士会の綱領にある「われらの建築は人類の幸福のため最良の芸術たるべし」という言葉のように、私たちがつくる建築も、富士山のように美しく、力強く、人々の心を支えるものでありたいと願います。

しかし、私たち建築士会は転換点に立っています。各地で会員数の減少と高齢化が進み、地域に根ざしたつながりが弱まりつつあるなかで、「集う」「語る」「学び合う」文化の再構築が強く求められています。

山梨には「無尽」という風習があります。地域の仲間が定期的集まり、語り合い、互いに支え合うこの文化は、人と人とのつながりを大切にする仕組みとして、今も地域に息づいています。また「富士講」は、人々がそれぞれの想いを胸に、富士の頂を目指して歩んできた、信仰と旅の文化です。

それぞれが歩んできた道が交わり、互いの想いが重なる場____それが、山梨大会の「頂」です。富士の麓、日本一の頂を望むこの地で、無尽のように顔を合わせ、語り合い、富士講のように志を携え、それぞれの「頂」に向かって再び歩き出す。本大会が、そのようなつながりを深め、未来を築く場になることを願い、開催いたします。



■ 関ブロ（関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会）とは？



関ブロとは、関東甲信越エリアの建築士会に所属する青年建築士が連携し、地域を越えた交流や研鑽を目的として活動する組織です。各都県の青年建築士が一堂に会し、建築に関する知識や技術の向上はもちろん、地域課題への取り組みや次世代育成など、幅広い活動を展開しています。関東ブロック大会は、その活動の集大成として開催される場であり、参加者同士が刺激を受け、新たなつながりを築き、未来の建築士会を担う力を育む貴重な機会となっています。



前回の関ブロ山梨大会
2016年6月17日 会場：清里清泉寮



前回大会の実行委員会メンバー
集合写真